



FDD基板 改造位置 プロット図  
S=N/S

1. 概要

本図面は、PC-9821 が標準で搭載している FD1231T または FD1238T を取り外し、PC/AT 互換機用 FDD を接続する際に FDD に対して改修を行う図面である。

PC-9821 Ls12/D10 への接続は、別途「FDDインターフェイス変換基板回路図」と合わせて改造を行うこと。

2. 材料

FD-235HG (コントロールチップに TB6022AF を搭載した個体)

3. 改造内容

- A. 1、33 番ピンが GND へ接続されているので、パターンを切断する。
  - B. 2 番ピンがコントロールチップの Mode Select へ接続されているので、「S3」の 0ohm の抵抗を撤去する。
  - C. 34 番ピンがコントロールチップの Disk Change へ接続されているので、パターンを切断する。
  - D. ドライブ番号を DX1 から DX0 とする必要がある場合に限り、「DS1」の 0ohm の抵抗を「DS0」へ移設する。
  - E. 1 番ピンとコントロールチップの Mode Select を接続する。
  - F. 33 番ピンとコントロールチップの Disk Change を接続する。
- ただし、「FDDインターフェイス変換基板回路図」を用いて FD1238T 搭載機に接続する場合は接続しない。
- G. 34 番ピンとコントロールチップの Ready を接続する。

4. 特記事項

- A. 改造した FDD と PC-9821 を接続する際は、端子のピンアサインに注意すること。
- B. 1 番ピンへ 360/300 信号を入力する時は、74HC14 などを用いて信号を反転させること。

工事名称 PC-9821 PC/AT 互換機用 FDD 接続計画 工事設計図

図面名称 FD-235HG 改修図

縮尺 N / S

1

1